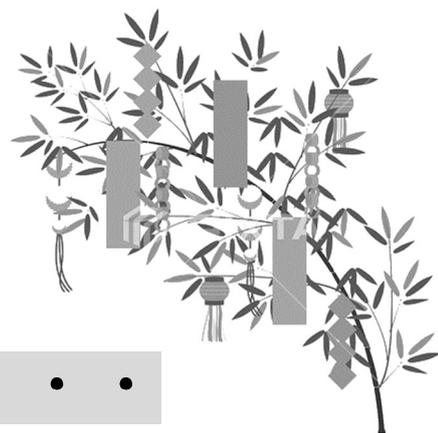


【七夕に思いを寄せて・・・】

7月に入ると、日本の夏の年中行事「七夕」をこども達と一緒に準備します。

にぬふぁ保育園での「七夕」のねらい

- ・七夕の行事を知る（小さいクラスは体験する・味わう）
- ・星や星座について知る、関心を持つ
- ・創作する意欲を持って七夕飾りを作る。
- ・七夕飾りを作ることを通して手指を使い、作る楽しみを味わう。



こどもの成長への願いを短冊へ・・・

「七夕」は中国の古い伝説（牽牛星と織女星の恋物語）と日本古来の清めの行事が結びついて

今日まで継がれてきた夏の日本の伝統行事です。

（詳しくは7月の園だよりをご覧ください♪）



七夕の主人公「織姫」と「彦星」は 私達の暮らしや自然と切り離せない関係

時計やカレンダーのない昔は太陽や月、星が人々の暮らしの目印になっていました。

私達保育園の名前「にぬふぁ星」（北極星）も世界で北の方角の目印です。

「織姫星（織女星）」は養蚕や針仕事を司る星。まさに今、年長さんがお世話をしているお蚕さんの季節を知らせる星です。織姫はその名の通り織物に長けた姫で、織物（私たちの暮らしには無くってはならない布＝糸）の象徴です。「彦星（牽牛星）」は農業の時季を知らせる星。にぬふぁ保育園でも、園庭にきゅうり、なす、ピーマン、枝豆が実り始め豊作の予感です。

伝統行事は人々の暮らしの中で必要に継がれてきた祭事です。



やがて「七夕」は針仕事や機織りだけでなく、文筆の上達や器用さ、生きる賢さ、そしてこどもの成長そのものを願う行事へと発展していきました。

短冊への願い事は、こどもの成長への願い

「こうなってほしいな」「〇〇が出来るようになってほしいな」を書いてみて下さい♪